

イ. 学習指導の現代化をはかる視点

- 現代化の基本的な考え方
 - ・ 現代化の意義
 - ・ 現代化をはかる重視点
- 学習指導改善の視点
 - ・ 個別化ということ
 - ・ 集団化ということ
 - ・ 治療ということ

ウ. 現代化をめざした学習指導改善の方向

- 基本的な考え方の確立
- 学習理論に対する理解
- 具体的な方法
 - ・ 指導計画 ・ 指導過程
 - ・ 指導形態 ・ 指導技術
 - ・ その他

エ. 現代化をめざす学習指導を進めるにあたっての留意点

② 演習、実技

ア. 授業研究

イ. 実技研修

(3) 研究学校名・校長名ならびに研究主題

管 内	学 校 名	校 長 名	研 究 主 題
県 北 (信 夫)	福島市立大笹生小学校	波 谷 靖十郎	情操教育を基盤とした学習指導法の改善
県 北 (伊 達)	桑折町立釧芳小学校	五十嵐 秀 夫	児童に学習の喜びをもたせ、思考力を高める指導はどうすればよいか
県 北 (安 達)	二本松市立二本松中学校	菅 原 重次郎	生徒の個性・能力に応じた学習指導はどうあるべきか
県 中 (郡 山)	郡山市立郡山第五中学校	国 分 直 治	創造的学力を高めるための学習指導法の改善
県 中 (岩 瀬)	鏡石町立鏡石中学校	小坂橋 大 三	生徒の主体的学習態度を育てるために授業をどう組織するか
県 中 (石 川)	浅川町立浅川小学校	相 楽 敏 春	子どもの能力を育てるための学習指導はどうあるべきか
県 中 (田 村)	三春町立三春小学校	志 賀 三 郎	ひとりひとりの学習効率を高める授業過程の研究
県 南 (西白河)	泉崎村立泉崎小学校	鈴 木 正	授業の質を高める学習指導はいかにあるべきか
県 南 (東白川)	鮫川村立鮫川小学校	渡 辺 豊	原理・法則を発見的に学習し、定着・拡張させるためにはどのようにしたらよいか
会 津 (北会津)	会津若松市立謹教小学校	鈴 木 鋭 介	思考力を伸すための指導法の研究
会 津 (耶 麻)	喜多方市立喜多方第一小学校	秋 月 一 江	学習内容を構造的にとらえさせ、思考力を高めるための指導法の研究
会 津 (両 沼)	坂下町立坂下第二中学校	五十嵐 光 威	ひとりひとりに学習を成立させるための授業を中心とした指導法の研究
南 会 津	田島町立田島中学校	羽 染 篤 夫	生徒の主体性を伸すための効果的な学習指導法の研究
い わ き	いわき市立小川中学校	吉 田 亀 吉	思考力を高める学習指導法の研究
相 双 (双 葉)	榑栗町立榑栗南小学校	志 賀 隆 文	授業の中で子どものいきいきした活動を盛りあがりを図るためには、教師の働きかけはどのようにしたらよいか
相 双 (相 馬)	相馬市立向陽中学校	梅 田 清 二	学習意欲を高めるために授業をどう組織するか

〔高等学校教育課〕

本年度県教育委員会努力目標の一項に、「高等学校教育の充実」が明示されたが、これは、ここ数年の急速な経済発展が教育の世界にも及ぼし、特に高校教育が準義務化したため生じた生徒の多様化と、教育の複雑化に即応して掲げられたものである。このため、この目標達成を旨として各種の研修会や協議会が持たれたが、その主な論点は、つねに学力差の問題であって、これを看過しては、全体の正常な学力向上は望めないというのが、参会者の結論であった。生徒の多様化、さらに進路や履修コースの多様 を招き、ますます高

2. 学習指導研究指定校の委嘱

旧管内1校ずつ、16校を指定し、2か年継続で研究を進めるようにした。本年度は、その第2年次である。

(1) 目 的

本県児童・生徒の学力向上を図るため、小学校および中学校について、学習指導全般の充実によって学力向上の実をあげる研究学校を指定し、その資料を当該校所属地区の各学校に普及し、活用させる。

(2) 指定校の運営

指定校は、前記目的達成を図るため、次の事項を基本として運営する。

- ① 過去における学力向上推進校の研究成果をじゅうぶん取り入れ、効率的・能率的な運営を進める。
- ② 学校経営全般にわたって診断を行ない、問題点のは握と改善につとめ、学力向上の効果をあげる。
- ③ 研究成果については、年度末に報告書を作成する。発表会を行なった学校は、研究集録をもってこれにかえる。
- ④ 研究計画の立案にあたっては、学校の実情、児童・生徒の実態をよくは握し、具体的な研究主題を設定する。

校教育の学習指導の困難さを増しているが、これらの対応策として、県教育委員会では「高等学校 学校教育指導資料」を発刊して指針とした。また、10月文部省より告示された「学習指導要領」は、今後の高校教育の方向を示したが、これは本県高校教育の努力目標と趣旨を一にするものである。

1. 学習指導法講習会

(1) 趣 旨

高等学校における学習指導上の問題点を究明し、指導技術の改善を図る。

(2) 主 催 福島県教育委員会